

2022.6.6

La Scatola Magica (マジックボックス)
ミラノサローネからミラノ市へのオマージュ

Salone del Mobile.Milano /ミラノサローネ国際家具見本市 (以下、ミラノサローネ) は、その価値、ミラノとの深い絆、そしてミラノを偉大にした企業やデザイナーを世界へアピールしています。そして今年、11人の映画監督が、王宮「カリアティディの間」で、イベントの質の高さ、革新性、創造性、そして何よりその美しさを、感動的で多感覚な物語体験を通して語ります。

ミラノサローネ譚、そ譚価値、ミラノと譚深い絆、そしてミラノを偉大にした企業やデザイナーを世界へアピールしています。そして今年、11人譚映画監督が、王宮「カリアティディ譚間」で、イベント譚質譚高さ、革新性、創造性、そして何よりそ譚美しさを、感動的で多感覚な物語体験を通して語ります。

第60回を迎えるサローネ・デル・モービレ・ミラノ (以下、ミラノサローネ) は、独自のアプローチでその歴史を語り、創立以来の価値観を世界中の人々に知らしめました。6月7日から17日まで、王宮のカリアティディの間で、「マジック・ボックス」が開催されます。サイトスペシフィックなオーディオビジュアルのインスタレーションは、サローネのDNAの一部である「マニフェスト」に掲げる11人の映画監督による11の言葉、「感情」、「企業」、「品質」、「デザイン」、「ネットワークング」、「コミュニケーション」、「文化」、「若者たち」、「創意工夫」、「ミラノ」「匠の技」に捧げられたものです。フランチェスカ・アルキブージ、パッピ・コルシカート、ダヴィデ・ランベッコ、ウィルマ・ラバーテ、ブルーノ・ボツェット、ルカ・ルチーニ、クラウドイオ・ジョヴァンネージ、ジャンニ・カノーヴァ、ドナート・カリージ、ダニエレ・チプリ、ステファノ・モルディーニ、といったイタリアの著名監督たちが物語を構成します。それは私たちの驚きの感覚を呼び覚まし、忘れがたい体験を生み出し、そして映画の言葉を通して、美しいミラノの街と共にサローネ 60周年を祝うことを目的としています。

このインスタレーションでは、高さ 6m、奥行き 24m の巨大な「カメラ・オブスクラ (暗室)」が登場し、映画以前の光学機器の幻想的で想像力に富んだ世界からインスピレーションを得て、3 幕構成のパフォーマンスが展開されます。コンセプトと製作総指揮は、ランベッコ & パートナーズ・クリエイティブスタジオのダビデ・ランベッコです。

アーティストック・ディレクター兼クリエイティブ・プロデューサー

ダビデ・ランベッコのコメント：

「イタリアのクリエイティビティに関する "空想辞典" を作ることをイメージしました。映画の魔法とサローネの価値観が持つ並外れた喚起力を融合させるというアイデアです。10 人の偉大なイタリア人監督によって解釈された短編アートハウス映画で、前例のない創造性のアンソロジーを作り上げようと考えたのです。そして、没入感の中で私たちは、映像に圧倒されるような本物の『マジック・ボックス』を想像し、その中に自分の夢を投影しました。最後に会場となる王宮の華麗なカリアティディの間を見上げれば誰もが感嘆の声を上げることでしょう。

暗室に足を踏み入れると、まるで美術館にいるかのような優雅な空間が広がります。部屋にある名画は、物語の比喩的な鍵になるのです。壁が暗くなると、この『マジック・ボックス』は映画館に変身し、11 人の偉大なイタリア人監督による 11 本の映画が上映されます。それぞれの監督が、ミラノサローネのマニフェストの言葉を独自のスタイルで解釈した短編映画です。結末にはまさに "クー・ドゥ・テアトル (どんでん返し)" が待っています。」

プロジェクト・パートナー

ミラノの文化シーンにおける重要な2つの施設。

- **ブレラ美術館**：このインスタレーションで再現される21の作品を収蔵
- **カルロ・コッラ人形劇団**：この美術館のコレクションから抜粋されたもの

あらすじ

システム - Bruno Bozzetto (ブルーノ・ボッツェット)

1分半の間に、アニメーションの詩的で軽快な動きで、人間の絶え間ない認知の進化を精緻に表現しています。太陽系、DNA、数学、音楽、言語.....それぞれのシステムに対する人間の発見と解釈は、好奇心、感性、創意工夫の結果です。

コミュニケーション - Luca Lucini (ルカ・ルチーニ)

イタリアの有名女優が解釈し演じるモノローグは、攻撃的で命令的、皮肉で軽妙という3つの全く異なるムードで展開されます。穏やかで魅惑的。コミュニケーションの原点が凝縮された90秒。コンテンツと同様にフォームも重要です。

サヴォアフェール (匠の技) - Stefano Mordini (ステファノ・モルディーニ)

言葉も台詞もなく、音楽、風景、身振り手振りのみ。このショートフィルムは、鉄の工芸品の製造工程を、その領域のナレーションから始まり、その実現に必要な原材料を経て、マクロな視点で「旅」を完成させます。サヴォアフェール (匠の技) の映像：工房での火の準備、鞆 (ふいご) で支えられた炎、金床を叩いて形を作る光り輝く鉄。

企業 - Pappi Corsicato (パッピ・コルシカート)

このショートフィルムは、「企業」のコンセプトを表現する上で最も象徴的で適切な被写体の一つであるアリをクローズアップしたものです。1分余りのフィルムで、研究、戦略、目標、チームワークなど、偉大な企業の本質的な価値を、アリの勤勉で体系的な行動と重ね合わせます。

若者たち - Gianni Canova (ジャンニ・カノーヴァと IULM の生徒たち)

タイトル: YOLO - You Only Live Once (人生は1度きり)

YOLO は新しい世代を被写体とし、彼らの視線に立ちます。揺れ動く流動的な視点を持つことで、鑑賞者は現実と仮想、身体とその非物質化の間に宙吊りにされた現実に入っていることに気づきます。物語を支える二本の糸は、ダンスとミラノという街です。3人の若いダンサーが、自分の身体性の再活用とミラノの都市景観の発見という二重の旅を創り出します。ダンスのリズムは、現代の若者の眩しさを伝える都市景観の体験を生み出します。

感動 - Francesca Archibugi (フランチェスカ・アルキブージ)

タイトル: Animaux

種の進化は、生存競争の中で、エモーションという非凡で神秘的な力を捨て去ることができませんでした。これは、アシカの退屈、タイの犬の怒り、海辺のペンギンの陽気など、動物の世界の感情の結晶である感情に語りかける短編映画です。

創意工夫 - Donato Carrisi (ドナート・カリッシ)

カフェの椅子に一人腰掛ける男性が、人間の創意工夫が生んだ偉大なイノベーションであるアイデアを、名前を付けずに提示し、語ります。その手にはある書体が握られています。それまで隠されていた男性の顔が映し出され、語り手の対象が明らかに、、、それは最先端の機械ではなく、一冊の本なのです。

プロジェクト - Wilma Labate (ウィルマ・ラバーテ)

自然の中にあるローマ時代の遺跡のアーチの下で、男女のグループが紙の城を作ろうとしています。メンバーは順番にテーブルの前を通り、構造物の上に紙を置き、そして去っていきます。そして城が崩壊、しかし、このプロジェクトは「アーカイブ」されません。再度、城が作られます。今回は皆で一緒に。そうすることで城はもう崩れなくなりました。

品質 - Davide Rampello (ダヴィデ・ランペッロ)

品質とは、違いを探し、それを物語ることにほかならない。サローネ 60 周年を記念して、このショートフィルムは、物語を数十年に分け、イタリアのサヴォアフェール(匠の技)の素晴らしさと豊かさを讃えています。1960 年代から現代まで、6 つの「章」ごとに、家具とデザインの世界における最高のデザインが紹介されています。画像、テキスト、グラフィックのダイナミックで絵画的なモンタージュで、Charlie Parker (チャーリー・パーカー) と Dizzy Gillespie (ディジー・ジレプシー) の「グルーヴィン・ハイ」の軽快で典型的なジャズの要素とメッセージのハーモニーをお届けします。

文化 - Claudio Giovannesi (クラウディオ・ジョヴァンネージ)

タイトル: 東方三博士 (マギ) の礼拝

3 つの異なる民族からなる 3 人の若者が、ローマ水道橋のそばの田園地帯でサッカーをしています。1 人が、地面に落ちている柔らかいおもちゃを見つけます。それは、彼らより少し年上の別の民族の少女と、彼女が抱いている生まれたばかりの赤ん坊のものでした。二人は水道橋のアーチの下に立っています。子供は笑顔で、おもちゃを返しに近づきます。少女は一瞬強張りましたが、子供の善意に気づき仲間に加わりました。3 人は黙ったまま、母性の優しさに純粋に感嘆し、驚嘆する瞬間を共有します。

ミラノ (- Daniele Cipri (ダニエレ・チプリ)

タイトル: La Mania del Dottor Dzig (ラマニア・デル・ドットール・ジガ)

1920 年代の無声映画にインスパイアされたモノクロの短編映画では、過去の世界からやってきたような前世紀の服を着た男と少女が田舎のど真ん中にいます。男はセルフタイマーで完璧なショットを撮ろうとするものの、偶然と自分の芸術的不満が常に邪魔をします。画面は 3 つのパートに分かれており、中央では完璧さを追求する姿が描かれ、両脇にはミラノの街並み、壮大な幾何学模様、完璧な装飾が描かれています。

LA SCATOLA MAGICA (マジックボックス)

Sala delle Cariatidi (カリアティディの間)

Palazzo Reale (王宮)

Piazza del Duomo 12, Milano

開催: 6月7日(火)~17日(金)

時間: 10:30 - 19:30 (最終日は 19:00 まで)

木曜日 10:30 - 22:30 (最終木曜日は 22:00 まで)

クレジット

クリエイティブ・エグゼクティブ・プロダクション:

Rampello & Partners for the Salone del Mobile.Milano

コンセプト・アーティスティック・ディレクション: Davide Rampello

プロジェクト・マネージャー: Tania Di Bernardo

アーキテクチュアル・プロジェクト: Alessandro Colombo

セット・デザイン: Mekane

照明デザイン: Marco Filibeck

グラフィックデザイン: Studio FM

ビデオ: Punto Rec Studios

*上映時間: 約 30 分 (動員数を制限しています)



PALAZZOREALE



プレスお問い合わせ先: 山本幸 yuki@milanosalone.com

International press info: Marva Griffin– Patrizia Malfatti press@salonemilano.it